

地元企業と連携した市立高校機械科の新設（岡山県玉野市）

取組概要

地元企業の即戦力として活躍できる優秀な人材を育成することを目的に、学校及び地域（地元企業）と連携・協働して、平成30年4月に玉野市立玉野商業高等学校へ機械科を新設した。（校名を玉野市立玉野商工高等学校へ改名）

さらに、機械科実習施設の提供やインターンシップの受入れなどの地域資源を活かした教育活動の充実により、地域を学び舎とした地元で活躍する人材育成に取り組んでいる。

＜具体的な取組＞

- ①機械科の新設にあたり、実習施設（校舎）は建設せずに、地元企業の研修施設を活用
- ②実習機械器具及び備品等の整備資金については、企業版ふるさと納税等を活用
- ③地域で教育し、地域で育てるため、産学官連携による高校生インターンシップを実施

取組の効果

- ①地元企業の協力により、施設整備費用はかからず、施設内の機械器具・備品費においては企業版ふるさと納税等により、整備することができた。
- ②地元企業と連携して教育を行う体制を構築したことで、学生に対してものづくりや地域の産業の魅力を伝え、市内の企業への就職や定住が促進される。

創意・工夫した点

- ①機械科設立に向け、構想策定段階から地元企業と連携をとり、資金面、施設提供、インターンシップ受入れ等多大な協力を得られた。
- ②地元企業の施設を活用して実習を受けられるため、建設費用が不要。
- ③企業OBや現役技能者から直接、最新の技術指導が受けられる。

他団体へのアドバイス

- ①地方創生の取組は、組織横断的に取り組まなければならないものが多く、いかに迅速かつ綿密に連携することができる体制をとることが重要と感じている。
- ②また、本市は経常収支比率がきわめて高いなど、大変厳しい財政状況であったため、限られた財源の中で事業を推進するには、新たな投資を検討する前に、まずは地域にある資源（強み）を活かす方策を検討すべきだと考える。

人口 60,450人（H29.12.31現在）

担当 総合政策課



市立玉野商工高等学校機械科イメージ



玉野市企業版ふるさと納税パンフレット



たまの版地方創生人材育成プロジェクトにご協力ください！



玉野市企業版ふるさと納税パンフレット